

1. 会長就任のご挨拶 Message from the President

Inaugural Greetings

NPO 法人日本シミュレーション&ゲーミング学会 会長 鐘ヶ江秀彦

Prof. Dr. Hidehiko KANEGAE, President of JASAG

会員のみなさまへ

2017年6月1日に開催された第6期(2017/6/1~2019/5/31)の新理事会において会長に選出されました。会長就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず初めに、喫緊の課題としまして、会員の皆様に都合4号分の学会誌刊行の遅延とともに、投稿論文の査読に時間がかかり過ぎていたことにつきまして、私自身も深く反省するとともに、前期の第5期の理事一同を代表して深くお詫び申し上げます。今期の理事会一同で最初にこれらの遅延の問題点の総括と深く反省を行うとともに、新学会誌編集委員長の元での挽回刊行を策定して再建計画の意思決定を行いました。背景には団塊の世代の退会を含む世代交代の中での査読者の指名が難しくなりつつある状況とともに、シミュレーション&ゲーミング関連学協会の増加に留まらず、ゲームを用いた研修やファシリテーションの学協会が増えて新規会員の加入の低減がありますが、投稿数の減少と査読と学会誌の刊行の遅延の言い訳にはなりません。新体制下においては査読プロセスを最速目標3ヶ月とすることと、2017年末を目処に、この半年以内に刊行の遅れた学会誌の刊行配布をすることを理事会にて最初に確認いたしました。重い課題を伴っての船出早々となりますが、会員のみなさまには今少しのご辛抱をお願いする次第であります。

第6期の危機的な当面の課題と会勢の回復のための基本方針は以下の通りです。

- 1) 学会誌発刊の滞りの解消、ならびに、投稿論文査読のスピードアップと見える化、
- 2) 学会サービスの新時代への対応と即時化、オンライン化、
- 3) 国際学術連携の発展、ISAGA2018(バンコク49th)に対するJASAGからの学術内容面での協調と支援、ならびにISAGA2019(ISAGA50周年)への国際連携、
- 4) 会勢の回復ならびに若手の学会加入と参加の促進、様々な学際科学がシミュレーション&ゲーミング時代への移行と親和性が高まってきており、この分野のイノベーションとビジネス、学術と政府機関との連携強化、
- 5) 学術上は、「AI社会、IoE・IoT実装と、Industry4.0変革とARとVRによるマルチリアリティ、シェアード・エコノミーとベーシック・インカムへと大きくパラダイムシフトが進む中で、来たるべき技術的特異点(2045年のテクノロジカル・シンギュラリティ)後へ向けてのシミュレーション&ゲーミング時代への移行への準備」にあると認識しています。

これからの2年間、会員のみなさまの助力と信頼を回復できるように、みなさまの声をよく聞きながら、より良き学会となるよう理事一同ならびに委員一同で運営してまいりますので、どうかご支援のほどをよろしくお願いいたします。

ご意見、ご叱責は president@jasag.org <mailto:president@jasag.org> まで。 (2017年7月22日)

2. 第6期運営体制

第6期の理事は次のように、指名理事を含め29名です。

第6期理事一覧（自2017年6月1日～至2019年5月31日）

荒井祐介	黒澤敏朗	菱山玲子
市川新	坂元章	松井啓之
市川学	白井宏明	松田稔樹
井門正美	白鳥令	
岩井千明	杉浦淳吉	
襟川陽一	田名部元成	指名理事
大沼進	土谷茂久	(計4名)
鐘ヶ江秀彦	出口弘	大山佳三
兼田敏之	寺野隆雄	金子友海
木谷忍	豊田祐輔	小山田晋
吉川肇子	浜田良樹	北梶陽子

第6期の運営体制は次のとおりです。（2017年7月26日現在）

会長

鐘ヶ江秀彦

副会長

松井 啓之（代表理事）

吉川 肇子（代表理事）

杉浦 淳吉

大沼 進

監事

梶 秀樹

玉田和恵

学術委員会

浜田 良樹（委員長）

田名部元成（副委員長）

大山 佳三

金子友海

木谷 忍

小山田晋（委員兼事務局）

学会誌編集委員会

大沼 進（委員長）

菱山玲子（副委員長）

市川 新

坂元 章

松田 稔樹

北梶 陽子（事務局）

運営委員会

松井 啓之（委員長）

荒井 祐介

市川 学

杉浦 淳吉

寺野 隆雄（日本学術会議担当）

豊田 祐輔（事務局）

国際学術・ISAGA50周年特別タスク・フォース

吉川 肇子（委員長）

鐘ヶ江秀彦

豊田 祐輔（委員兼事務局）

表彰委員会

出口 弘（委員長）

襟川 陽一

兼田 敏之

黒澤 敏朗

豊田 祐輔（事務局）

フェロー選考委員会

白鳥 令

市川 新

土谷 茂久

豊田 祐輔（事務局）

横幹連合担当

白井 宏明

事務局

豊田 祐輔（事務局長）

小山田 晋

北梶 陽子

3. シミュレーション&ゲーミング学会誌 特集号論文募集のお知らせ

学会誌編集委員会委員・特集エディター
松田稔樹（東京工業大学）

■テーマ：教育の変革を促すシミュレーション&ゲーミング

■投稿締切：第1期 2017年9月1日 第2期 2017年11月1日

■掲載予定：2018年6月発行の学会誌

2017年3月に、小・中学校の新しい学習指導要領が告示された。高等学校版も年度内に告示される見通しである。新学習指導要領では、内容中心で知識・理解を重視したこれまでの指導から、資質・能力の育成を重視し、主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を実現する方向へと舵切りが行われた。アクティブラーニングは、高等教育改革で先行して使われた用語であり、大学等の授業も、講義中心・知識伝達型のものから、考えさせ議論させることを重視したものに比重を移すことが要請されている。

もちろん、考え、議論するベースとして知識が必要なことは言うまでも無い。しかし、1980年代から言われている通り、知識は教わるものでなく、自ら学ぶものという意識を育てる必要もある。いわゆる自己学習力の育成が高等教育を含む学校教育に求められている。

このような動向の中で、コミュニケーション手段、未来を語る言語としてのシミュレーション&ゲーミングの役割はますます重要になっている。その期待に応えるためにも、他のアクティブラーニング手法と比較したシミュレーション&ゲーミングの優位点は何か、逆に、他の手法から取り入れ融合すべき点は何か、教育に活用する上での課題とその解決策は何かなどを明らかにすること、また、その研究方法を確立することが急務である。

本特集では、教育の変革期にあつて、シミュレーション&ゲーミングの教育応用を広げ、その改革を促すことが期待される新たな研究成果を募集する。原則として、一般論文で扱われるべき個別分野、ケースでのシミュレーション&ゲーミングの教育応用ではなく、汎用性に主眼を置いたシミュレーション&ゲーミングの教育利用に関する研究論文を取り上げる。なお、ここで言う汎用性は、設計やシステム化、応用可能性などにおいてそれが考慮されているという意味であり、実践や評価が特定の分野、ケースで行われていることを理由に排除するものではない。

■投稿要領：

通常の論文投稿規程に準じる。投稿に際しては、原稿の1ページ目に「特集：教育の変革を促すシミュレーション&ゲーミング」と朱書きのこと。投稿された原稿は、学会誌編集委員会の承認を得て、特集論文審査、一般論文審査、非審査原稿（解説）、不掲載のいずれかとして扱われる。論文審査の場合、投稿原稿の本学会が定める査読制度によって採否を判定する。なお、第1期の投稿状況によるが、第2期の締切延長はしない予定である。

■問合せ先：

松田稔樹（東京工業大学） matsuda@et.hum.titech.ac.jp

4. 2017 年度秋期全国大会のお知らせ

11月3日(金祝)～5日(日) ホテル札幌ガーデンパレス・北海道科学大学

大会テーマ： **変わりゆくシミュレーション&ゲーミング**

2017 年度秋期全国大会は北海道科学大学で開催することになりました。静かな晩秋の札幌にて、ともにシミュレーション&ゲーミングを語りましょう。多数の参加をお待ちしております。

1. 日時 2017 年 11 月 3 日～ 5 日

11 月 3 日 (金祝) : 16:00-17:00 理事会, 受付

17:00-18:00 特別研究会

18:00-20:00 ゲーミングの夕べ (JASAG 総合ゲーミング研究会)

11 月 4 日 (土) : 9:00-17:40 受付, 基調講演, 企画セッション, 一般発表

International Session, パネルディスカッション,

JASAG 総会, 表彰式

11 月 5 日 (日) : 9:00-12:15 企画セッション, 一般発表

※今後, スケジュールは変更ありません.

2. 場所 3 日 : ホテル札幌ガーデンパレス (札幌市中央区北 1 条西 6 丁目)

4 日, 5 日 : 北海道科学大学 (札幌市手稲区前田 7 条 15 丁目 4-1)

※札幌駅周辺に宿泊すると便利です.

3. 重要日程

- 企画セッション申込 : 2017 年 8 月 21 日 (月) ～9 月 4 日 (月)
- 一般発表申込 : 2017 年 8 月 21 日 (月) ～9 月 11 日 (月)
- 採択通知(企画セッション) : 2017 年 9 月 11 日 (月)
- 採択通知(一般発表) : 2017 年 9 月 19 日 (火)
- 原稿締切 : 2017 年 10 月 10 日 (火)

※今後, ホームページを開設し, 参加申し込み方法等をお知らせします。

北海道科学大学へのアクセス

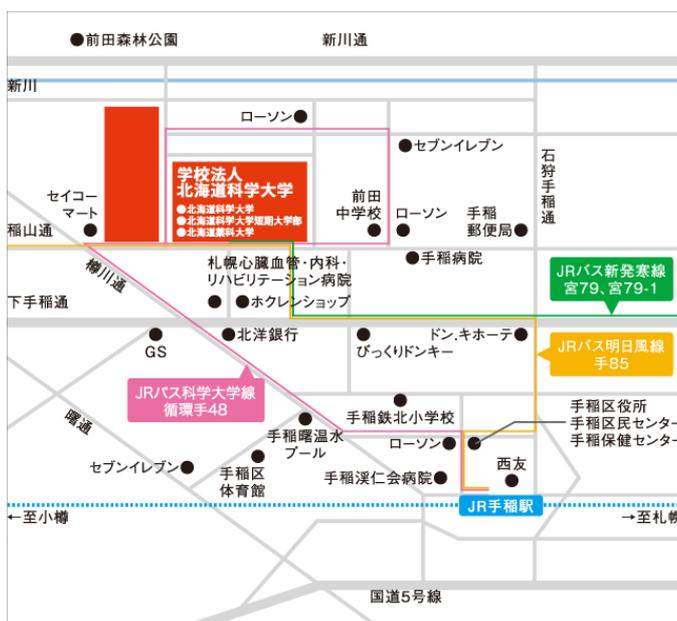
・新千歳空港からJRをご利用の場合



新千歳空港駅からは「快速エアポート（小樽行き）」に乗車すると、手稲駅まで乗り換えなしで52分で着きます。

JR 北海道：http://www.jrhokkaido.co.jp/network/jikoku/pdf/20170304/jikoku5_01.pdf

・JR 手稲駅より



- ◆ 手稲駅北口より JR バスをご利用いただき、バス停「北海道科学大学」で下車してください。所要時間は約 9 分です。（料金：190 円）
- ◆ タクシーをご利用いただいた場合の所要時間は約 5 分です。（料金：1000 円程度）
- ◆ 徒歩の場合の所要時間は約 25 分です。

【緊急のお知らせ】

発表の日程は学術委員会と組織委員会により決定されます。参加者は日程や時間を指定することはできません。4 日午前に発表が当たる可能性があるため、今回は前泊をお願いする趣旨で特別に 3 日からの日程を組んでいます。

11 月 3 日から 4 日にかけて札幌市内では大規模な芸能イベントが行われるため大変な混雑が予想されます。特に 3 日の札幌市内のホテルは大混雑が予想されます。

宿泊先の予約は JASAG としては対応できません。また、これを理由としたキャンセル返金には一切応じられませんのでくれぐれもご注意ください。

組織委員長 金子 友海（北海道科学大学短期大学部）

学術委員長 浜田 良樹（名古屋工業大学・タマサート大学）

5. ISAGA2018(国際シミュレーション&ゲーミング学会第 49 回大会:於バンコク) 投稿のご案内と査読者募集について

ThaiSim (タイ・シミュレーション&ゲーミング協会) の要請に基づき JASAG は ISAGA2018 に対し全面アカデミックサポートを行っています。皆様の積極的なご協力 (特に投稿と査読をしてくださる方) が必要です。実施要綱は下記の通りですので、参加をご検討ください。

記

1. 会議実施日時: 2018 年 7 月 9 日 (月) ~ 13 日 (金)
2. 場 所: タイ王国ナコーンパトム県マヒドン大学サラヤキャンパス
(バンコクの西隣, 都心から車で 50 分)
3. 大会テーマ: **Active Learning and Neo Simulation-Gaming**
4. URL <http://www.isaga2018.com/>
5. 重要日程

大会の質を確保するため二段階査読を行います。12 月 20 日までに様式自由の 1 枚もので発表の趣旨, 目的などを記述してください。これにパスしたら, 3 か月間のお時間があるので本原稿をご執筆ください。すべてのカテゴリでフルペーパーを提出することができます。1 次審査に通った原稿はすべてポスターを作って展示することができ, 優秀作全体の 30% は最優秀論文賞の候補になり, かつ Springer 社より出版されます。

1) 一般論文およびワークショップ

概要〆切日: 2017 年 12 月 20 日

概要審査通知: 2018 年 1 月 10 日

2) フルペーパー (一般論文およびワークショップ)

フル論文送付〆切日: 2018 年 4 月 15 日

論文修正内容通知日: 2018 年 4 月 30 日

完成版下論文提出〆切日: 2018 年 5 月 31 日

3) ポスター

ポスター提出〆切: 2018 年 5 月 1 日

ポスター審査結果通知: 2018 年 5 月 15 日

6. 参加料 (日本円換算 2017/07/25 現在, 支払時には指定外貨振込になります。)

種 別	早期割引 (4 月 3 日火曜日まで)	レギュラー
一般等	37,700 円	44,200 円
学 生	14,300 円	17,300 円

7. 査読を引き受けてくださる方は, hamada@siit.tu.ac.th までお名前・ご所属・専門分野のキーワードや簡単な記述をお送りください。

8. お問い合わせも日本語で結構ですので上記アドレスまでお寄せください。

問合せ先: 浜田良樹 (タマサート大学・名古屋工業大学) hamada@siit.tu.ac.th

6. 研究部会一覧

今年度、学術委員会による審査を経て、以下の表の研究部会が設置されて年間5万円の釣果研究活動費補助が行われており、どの研究部会に対しても、会員であればどなたでも参加できます。広報委員会では、個々の研究部会の活動についても今後紹介していく予定です。

課題別研究部会名／地域別研究部会	主査	所属	期間
ビジネスシミュレーション研究部会	白井 宏明	放送大学	H28-H29
シリアスゲーム研究部会	井門 正美	北海道教育大学	H28-H29
地域づくりゲーミング評価研究部会	木谷 忍	東北大学	H28-H29
エネルギー・環境ゲーミング研究部会	鈴木 研悟	筑波大学	H29-H30
ゲーム移転研究部会	浜田 良樹	名古屋工業大学	H29-H30
対話的教授手法研究会	吉川 肇子	慶応義塾大学	H29-H30
西日本ヒューマン・ベース政策過程ゲーミング・シミュレーション研究会	近藤 敦	立命館大学	H29-H30
社会&ビジネスゲーム研究部会	中野 冠	慶應義塾大学	H29-H30

7. 第22回(2017年度)学会賞等候補者推薦のお願い(表彰委員会)

シミュレーション&ゲーミングの学術的発展に寄与した個人などに学会賞を、論文などで貢献した会員に論文賞を、ソフトウェアやシステムを研究開発し公開した会員に優秀賞を授与しています。今年も学会賞等表彰に関する細則に従い、学会賞、論文賞、優秀賞、ならびに奨励賞の候補者の推薦募集がはじまります。

- (1) 学会賞は、シミュレーション&ゲーミングに関する研究ならびに社会的貢献において顕著な業績をあげた者又は団体に授与する。
- (2) 論文賞は、シミュレーション&ゲーミングに関する優秀な研究業績をあげた者に授与する。
- (3) 優秀賞は、教育、研究又は実務において、極めて有用性の高いシミュレーション&ゲーミングを設計・制作するか、もしくは、シミュレーション&ゲーミングに関する優れた著作を刊行した者に授与する。
- (4) 奨励賞は、シミュレーション&ゲーミングに関する将来性のある研究、作品又は社会的活動に意欲的に取り組み、中間的であれ一定の成果を出した者又は団体に授与する。

詳細については、下記の学会賞等表彰に関する細則をご参考ください。この表彰は、2017年3月末までの業績を対象としています。URL <http://jasag.org/npo-jasag/rule/award>

本推薦については、7月24日(月)付けで、推薦状様式が添付された案内のメール(修正版)が会員に送付されています。もし届いていないというようなことがありましたら、事務局までご連絡ください。

問合せ先：事務局 jasag-post@bunken.co.jp

8. フェロー会員の推薦募集

フェロー会員とは、シミュレーション&ゲーミング分野の見識に優れ、責任ある立場で長年にわたり指導的役割を果たし、学会の重要な活動に従事するなど社会に貢献してきた正会員の中から理事会が認めた方です。現フェロー1名からの推薦、あるいは理事3名からの推薦、または正会員10名からの推薦ができます。今年度もフェロー会員の推薦募集が始まります。推薦候補の詳細と推薦募集日程は追ってお知らせいたします。

9. 公益財団法人科学技術融合振興財団【FOST】の研究助成募集

すでに会員の皆さまのもとに、平成29年度のFOSTの研究助成の要項が届いていることと思います。ご応募、周知等、よろしくお願ひします。以下のサイトもご参照ください。

公益財団法人科学技術融合振興財団 URL <http://www.fost.or.jp/services/>

平成29年度の調査研究と補助金について助成募集が開始されており、10月16日(月)到着分まで応募を受け付けています。

A:調査研究助成：シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究

B:補助金：情報技術、ネットワーク技術を応用したシミュレーション&ゲーミングによる学習用ソフトウェアの試作、あるいは社会に役立つシリアスゲームの調査研究

10. JASAG 会員数(2017年7月25日現在)

会 員 種 別	会 員 数	会 員 種 別	会 員 数
名 誉 会 員	1名	機 関 会 員	2機関
フ ェ ロ ー 会 員	3名	法 人 会 員	1社
正 会 員	244名	特 別 賛 助 会 員	2機関
学 生 会 員	51名	会 員 総 数	304名+5団体

11. 今後のスケジュール

2017年11月3日～5日 JASAG 秋期全国大会 (本ニュースレターの通り)

2018年5月頃 JASAG 春期全国大会 実行委員長未定, 東京工業大学田町キャンパス(東京都港区)

2018年7月9日～13日 第49回 ISAGA タイ王国・バンコク, Mahidol 大学

2018年11月9日～11日 JASAG 秋期全国大会 実行委員長大山理事, 熊本学園大学(熊本県熊本市)

NPO 法人 日本シミュレーション&ゲーミング学会ニュースレター (2017年7月31日発行)

編集 広報委員会 杉浦淳吉

発行 NPO 法人日本シミュレーション&ゲーミング学会

JASAG ホームページ: <http://www.jasag.org/>

JASAG 全般に関するご意見・質問等: secretary@jasag.org

NPO 法人日本シミュレーション&ゲーミング学会事務センター

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

Tel. (03) 5389-6278 Fax. (03) 3368-2822

担当: 木崎 (jasag-post@bunken.co.jp)
